

ぼくの好きな生きものたち

平尾小・6 寺部 颯真

ぼくは生きものが好きだ

二年前の夏

お祭りで妹とやった金魚すくい

金魚すくいはとても難しい

ホームセンターにいないタイプで

少し高級そう

体がふっくらした金魚

目の大きさはそれぞれちがって

赤い金魚や

黒い金魚もいた

高級そうな金魚は重たかった

金魚はすくえなかった

それでもお土産に二ひきずつもらった
しかし

一週間で一ひきずつ死んでしまった

残りの二ひきは

半年くらい元気に過ごした

それでも残り一ひきになってしまった。

その金魚は

「きんぎよちゃん」

赤色のからだに

おしりのあたりが白色の模様

しっぽは高級そうなりボンのひだみたい

きつと女の子かな

毎日話しかけて

えさをあげた

水そうのそうじや

水かえも忘れずに

寒い冬は

寒さに負けずそうじや水かえ

暑い夏は

水の量の確認をしつかりと

井戸水も熱いので

冷たい水が出るのを待つて

水かえをした

そんな「きんぎよちゃん」との

とつ然の別れ

いつもとちがう行動

水面に口を出して

ぷくぷくと呼吸をしている姿

その三日後に

「きんぎよちゃん」は死んでしまった

土にうめて

水草をすてて

ありがとうの気持ちをこめて

水そうをきれいにした

我が家にはまだまだ生きものがいる

メダカやクワガタ

カブトムシの卵

ぼくは生きものと一緒にいることが

楽しくてたまらない

好きなことは

大人になっても続けよう

これからも自分の好きを

極めていきたい